



じゃがいもずきん「ききぼう」くん

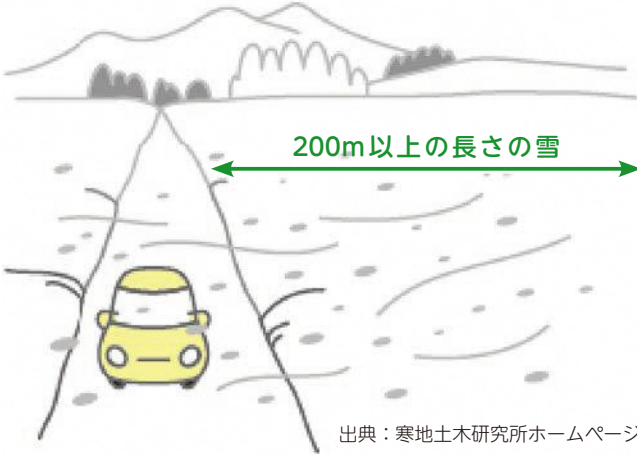
防災ワンポイント 第54回 冬道の安全対策

道路には、周りの土地よりも高い位置にある「盛土道路」と、逆に低い位置にある「切土道路」という種類があります。

一般的に、「盛土道路」よりも「切土道路」の方が、吹きだまりが発生しやすい傾向があり、冬場の通行には注意が必要になります。

道路の吹きだまりが深くなると、車の走行が困難になることがあるため、吹きだまりには十分注意し、無理のない運転をするよう心がけましょう。

●周囲の開けた平坦な地形の道路



出典：寒地土木研究所ホームページ

吹雪をさえぎる樹木や建物が少なく、周囲が開けた平坦地では、道路に吹き込んでくる雪が多くなりやすいため、視程障害や吹きだまりが発生しやすくなります。200m以上の長さの開けた雪原がある場合、風で飛ばされる地吹雪の量が最大に達します。したがって、風上側が大きく開けているような道路では、吹雪による視程障害が発生しやすいといえます。特に、畑や牧草地が広がっている平地では、冬には広い雪原になるので、風の強いときには注意しましょう。

●峠区間や急峻地形の道路

峠区間や山岳地の急峻地形（山や坂などの傾斜が急でけわしい地形）にある道路では、複雑な地形を吹き抜ける風によって、視程障害がもたらされることがあります。特に、標高の高い山地には背の低い木が多く、積雪も多いので、冬には吹雪をさえぎる樹木が少なくなります。このような峠区間や急峻地形の道路では、気象の変化も著しく、短い区間でも視程が急変することがあるので、走行には注意が必要です。

●切土区間や盛土との境の区間

深い切土区間では、切土の上の平地で発生した飛雪が道路上に吹き込むことによって、吹きだまりや視程障害が引き起こされることがあります。また、切土と盛土との境の区間では、盛土から切土に吹き込む風によって視程障害をまねくこともあります。



出典：寒地土木研究所ホームページ

知っておきたい！ 道路情報の入手方法

●北の道ナビ吹雪の視界情報（寒地土木研究所）

吹雪による現在の視界や、24時間後までの予測情報を入手することができます。

(P C) <http://northern-road.jp/navi/touge/fubuki.htm>

(スマホ) <http://northern-road.jp/navi/touge/sp/fubuki.htm>

(携帯) <http://n-rd.jp/>

●北海道地区道路情報（北海道開発局）

国道や道道の通行止めの情報を確認できます。

(P C) <http://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp/>

(スマホ) <http://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp/sp/>

(携帯) <http://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp/m/>



詳しくは、総務課 防災係まで。